1 単元名 「少年の日の思い出」を読んで、「まるわかりブック」に考えをまとめよう

2 本単元の目標

- (1) 事象や行為、心情を表す語句を話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 [知識及び技能] (1)ウ
- (2) 関連する描写を探したり、場面と描写などを結び付けたりして内容を考えることができる。 [思考力、判断力、表現力等] C(1)ウ
- (3) 言葉が持つ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①事象や行為、心情を表す語句を話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ	①「読むこと」において、関連する描写を探したり、場面と描写などを結び付けたりして内容を考えている。(C (1)ウ)	①粘り強く場面と描写などを結び付け、学習課題に沿って考えたことをまとめようとしている。

4 単元について

(1) 教材観

本教材は、文学的な文章「少年の日の思い出」を読んだ後に課題解決への見通しをもち、場面や描写を根拠にして、複数の視点から考えたことを「まるわかりブック」にまとめるという「読むこと」の単元である。「少年の日の思い出」は、前半と後半の場面に分かれていて、前半にある叙述が後半の伏線となっているところが多い。そのため、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することに適した教材であると考えられる。

(2) 生徒観

本学級の生徒に対して行った実態調査（令和4年*月実施 第1学年*組*人）では、読書するとき、登場人物の心情や行動、情景等の描写に対して疑問をもちながら読んでいるかという質問に対して、よく当てはまると回答した生徒が*人、更に、読書するとき、その疑問に対して答えを探すため、前後の文章や物語全体を読み返しているかという質問に対して、よく当てはまると回答した生徒が*人であった。また、場面と描写を結び付けて、登場人物の気持ちや心情を解釈する力に関する実態調査（令和4年*月*日実施 第1学*組*人）を行った。その結果、問題を正答した人数が*人とであった。これらのことから「問い」の解決に向け、文章や物語を読み返しながら、場面と場面、場面と描写などを結び付け、その答えを見付けることができるよう授業改善をする必要があると考える。

(3) 指導観

本単元では、「少年の日の思い出」を読み、疑問に感じたことを解決して、「まるわかりブック」に考えをまとめるという言語活動を設定した。まず、教科書の文章表現と創作した文章表現の一部を比較したときに感じる、登場人物が「なぜこのような行動をしたのか」、作者が「どうしてこの描写にしたのか」などの疑問を付箋に書き出す。次に、小集団になり、KJ法を用いて「問い」を整理し、小集団でどうしても解決したい「問い」にまとめる。その「問い」を学級全体で共有し、いくつかの視点により、包括する疑問として収束し、学習課題へと繋げる。それぞれの学習課題を、物語の終末に向かって解決していくよう学習計画を立て、単元の見通しをもつ。そして、それぞれの学習課題に対し、思考を可視化するためのワークシートを用いて、登場人物の相互関係や心情の変化などについて、場面や描写を基に捉える。その際、毎時間の活動後に物語の終末部分の「問い」に戻って振り返る活動を行い、考えを広げたり、深めたりする。以上のことから、場面と描写などを結び付け、内容を解釈することができるのではないかと考える。

5 単元の指導計画（8時間扱い）

○は指導に生かす評価場面 ◎は記録に残す評価場面

次	時	学習内容・活動	知	思	態	評価方法・留意点等
1	1	<p>課題 「少年の日の思い出」は、どのような物語なのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全文（原作）を読む。 「まるわかりブック」について知る。 主な登場人物の確認を確認し、あらすじをまとめたり、感想を書いたりする。 <p>まとめ 過去に、エーミールのチョウを盗んで壊してしまった少年時代の思い出を「客」が、現在の私に語る物語である。</p>				<ul style="list-style-type: none"> 題名から物語の内容を想像することで、意欲的に物語を読めるようにする。 「まるわかりブック」を作成することを知り、今後の学習意欲に繋がられるようにする。 <p>○ 態①: 登場人物やあらすじの情報を捉えられていない生徒を見取り、中心となっている人物の行動に着目して書くよう助言する。 【観察、ワークシート】</p>
2	2 検 証 授 業 ①	<p>目標：文章表現の違いを基に、疑問を書き出したり、共有した「問い」をまとめたりしようとしている。</p> <p>1 前時の学習を振り返る。</p> <p>課題 二つの文章表現から、どのような「問い」が考えられるだろうか。</p> <p>2 創作文章と原作を比較する。</p> <p>3 「問い」を付箋に書き出す。</p> <p>4 「問い」を小グループで整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小グループになり自分の「問い」を発表する。 ホワイトボードに付箋を貼り出し、似た内容ごとにまとめる。 解決してみたい「問い」を3つホワイトボードに書き出し黒板に掲示する。 <p>まとめ 二つの文章の違いから、物語を読み返しながら解決すべき「問い」が考えられた。</p> <p>5 「問い」を考えることができたかについて、学習を振り返る。</p>				<ul style="list-style-type: none"> 前時に学習したあらすじを確認することで、物語の内容を振り返ることができるようにする。 印象的な場面について質問することで、終末場面の話に繋がられるようにする。 終末場面の創作文章を提示することで、違和感を生じさせることができるようにする。 二つの文章を比較した際に教科書の文章表現を見て浮かぶ疑問を付箋に書き出すようにする。 「問い」の内容によって付箋の位置をまとめ、「問い」を整理することができるようにする。 <p>◎ 態①: 文章表現の違いを基に、疑問を書き出したり、共有した「問い」をまとめたりしようとしている。 【観察、ホワイトボード】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級全体の「問い」について、まとめ方を考えておくよう伝えることで次時に繋がられるようにする。
	3	<p>課題 どのように「問い」を解決していけばよいのだろうか。</p> <p>○ 「問い」を全体で整理し、学習課題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「問い」を似た内容ごとに分ける。 分けた「問い」全てを解決できる学習課題をそれぞれの内容ごとに 				<ul style="list-style-type: none"> 前時の板書を提示することで、円滑に授業に入ることができるようにする。 「問い」の共通点を探すことで、僕とエーミール・盗み・押し潰す・現在などのキーワードを基に「問い」を分けることができるようにする。 似た内容ごとに全体を包括できる学

		<p>考える。</p> <p>○ 単元の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を解決していく順番を決定する。 <p>まとめ 学習課題を解決していけばそれぞれの「問い」が解決していく。</p>			<p>習課題を考えることで、自分の「問い」に繋がるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語の終末に向かうよう学習計画表に記入することで、見通しをもてるようにする。 ・学習課題に沿って進めていくことを確認することで、次時に繋げられるようにする。
	4	<p>課題 なぜ、僕はエーメールに謝りたくなかったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の描写を結び付けることで、僕の気持ちや心情の変化をまとめる。 <p>まとめ エーメールに対しては申し訳なさを感じていない。チョウを盗んだことよりも、壊したことに罪悪感を感じていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容を結び付け、物語の終末場面の「問い」に対する考えを記入する。 	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個人で考えをまとめる際、思考を可視化するワークシートを用いることで、根拠を結び付けやすくする。 <p>知①：ワークシートの内容が書けているか見取り、個人の考えをまとめたり、伝えたりすることができていない生徒には、登場人物の心情や行動に着目するように助言する。 【観察・発表ノート】</p> <p>思①：僕の気落ちが書けているか見取り、書けていない生徒には、チョウを盗むことに繋がる描写を探すよう助言する。 【発表ノート】</p>
	5	<p>課題 どうしてエーメールは舌を鳴らしたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エーメールが舌を鳴らした理由が分かる描写を探し、僕のことをどのように思っているか考える。 <p>まとめ チョウ集めの仲間の内の一人と考えていたが、チョウを壊したのが僕だと分かったので、失望して舌を鳴らした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容を結び付け、終末場面の「問い」に対する考えを記入する。 	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・思考を可視化するワークシートを用いて、エーメールが僕のことをどのように思っているのか明確にする。 <p>知①：登場人物の心情や行動を表す語句を用いて個人の考えをまとめたり、伝えたりすることで、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【観察、発表ノート】</p> <p>思①：登場人物の関係が書けているか見取り、書けていない生徒には収集の描写の違いに着目するよう助言する。 【発表ノート】</p>
3	6	<p>課題 前半（現在）の場面は、この作品において、どのような役割を果たしていたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後半が過去のまま終わっていることについて、考えをまとめる。 <p>まとめ これから始まる過去の物語の結末を暗示する伏線としての役割を果たしていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容を結び付け、終末場面の「問い」に対する考えを記入する。 		○	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団の交流の際、ワークシートを用いて、複数の情報を結び付けやすくする。 <p>○ 態①：場面前半の役割を考えられていない生徒を見取り、後半の場面や描写に繋がる表現を探すなど指導を行う。 【観察、発表ノート】</p> <p>思①：場面前半の役割を書けているか見取り、書けていない生徒には、後半に前半の描写がどのように関わるか考えるよう助言する。 【発表ノート】</p>

<p>7 検 証 授 業 ②</p>	<p>目標：関連する場面や描写を探したり、場面と描写などを結び付けたりして、内容を考えることができる。</p> <p>1 学習課題を確認する。</p> <p>課題 「僕」の最後の行動には、どのような意味があるのだろうか。</p> <p>2 小集団で課題解決をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当の場面ごとにエキスパート活動を行い、描写を見付け自分の考えをまとめる。 ・ジグソー活動により共有し、考えをまとめる。 <p>3 全体で共有する。</p> <p>4 自分の意見を改めて考え直す。</p> <p>まとめ 自分に対する罰、チョウとの決別、エーミールに対する嫉妬や悔しさを表していた。</p> <p>5 場面や描写を結び付けて考えることについて学習を振り返る。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・前時の内容を振り返り、学習計画を確認することで、円滑に授業に入ることができるようにする。 ・前半場面、チョウに熱中した場面、チョウを盗む場面、エーミールへの謝罪の場面に担当を分けることで、複数の情報を集めることができるようにする。 <p>○ 態①：描写を探し出せているか見取り、探し出せていない生徒には、終末と似た表現がないか探すよう助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小集団の交流の際は、思考ツールを用いて複数の情報を結び付けることができるようにする。 <p>◎ 思①：関連する場面や描写を探したり場面と描写などを結び付けたりして、内容を考えている。 【発表ノート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まるわかりブック」の交流を行うことを確認して、次時に繋げるようにする。
<p>8</p>	<p>・「まるわかりブック」を交流する。</p> <p>課題 「問い」をもちながら読むことのよさとは何だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「問い」をもちながら読むことのよさについて振り返る。 <p>まとめ 物語文を読むときには、「問い」をもちながら読むことで、物語をより深く考えることができる。</p> <p>振り返り 他の本(物語)を読むときにも、問いをもちながら読んでいきたい。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・「まるわかりブック」を交換し、描写の意味について級友の考えを読み合うことで、自分の考えが深まるようにする。 ・「問い」をもちながら読むことのよさについて考えることで、学習してきたことを自覚できるようにする。 <p>◎ 態①：単元全体を振り返り、読むことへの意欲をもち、次の活動へ繋げようとしている。 【観察、振り返りシート】</p>